

透析患者 3 例の疼痛に対する エイトの使用方法和効果について



桜新町クリニック
技士部 臨床工学技士
依田 光弘様



【はじめに】

多くの透析患者が体の節々に痛みを抱えながら日々の治療を受けている。透析患者の疼痛の訴えに対し、エイトが有効であるか検討した。

【症例報告】

●症例①：

70代女性 透析歴7年11ヶ月

- ・両下肢末梢に疼痛がある
- ・歩行時に痛むため行動範囲が減少

●エイト使用方法：

足背と足底それぞれに2つずつエイトを固定し、各足30分、週3回実施した。

●結果：

使用前NRS:8であったが、使用開始2週間程度で痛みが軽減し、4週間目でNRS:4まで低下した。患者への聞き取りから、行動範囲の広がりを認めた。

●症例②：

80代男性 透析歴5年

- ・両下肢末梢に疼痛がある
- ・安静時、歩行時に痛みあり

●エイト使用方法：

足背と足底それぞれに2つずつエイトを固定し、各足30分、週3回実施した。
(下記写真参照)



●結果：

右足：使用前NRS:10であったが、使用開始1週間程度でNRS:5まで低下。使用後末梢に暖かさの実感あり。

左足：使用前NRS:5であったが、使用開始1週間程度でNRS:3まで低下。2週間目にはNRS:0まで低下した。一度治療を中止したところ、2週間経過後にはNRS:2程度に上昇した。

●症例③：

60代男性 透析歴23年11ヶ月

- ・手根管症候群の診断
- ・透析中にシャント肢に疼痛あり
- ・痛みに耐えられず、透析時間を短縮する場合もあり

●エイト使用方法：

手背に2つ、手首・掌に1つずつエイトを固定し、30分、週3回実施した。
(下記写真参照)



●結果：

使用前NRS:7であったが、使用開始2週間程度でNRS:4まで低下、その後も継続使用でNRS:4程度を維持した。

使用中は痛みが軽減し、透析時間を短縮することなく、終了まで継続できた。

【考察】

数回の使用後から暖かさを感じ、痛みが軽減するなど早期から効果が得られた。

下肢末梢の冷えなども軽減したという声があり、抹消循環の改善などにも役立っているのではないかと考える。反対に効果をすぐに実感できない患者は継続できないことが多く、まずは継続して使用させることが重要だと考える。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp